

## 平成19年度グローバルに活躍できる「広島っ子」育成事業 可部高等学校で「世界とのふれあい講座」を実施



### 【実施概要】

日時：2008（平成20）年1月16日（水）13：25～14：15  
場所：広島市安佐北区可部三丁目15-26（校長：河野 靖）  
<http://www.kabe-h.hiroshima-c.ed.jp/>

対象：現代コミュニケーションコース 1学年(37名),2学年(36名)

講師：横山浩平氏

（社）アジア協会アジア友の会（JAFS）海外プロジェクト 主任

### 【テーマ】 地球の未来に向かって～私たちにできること～ アジア協会アジア友の会の活動紹介

私達の支援とは

ストリートチルドレンだった子どもが考える社会の  
貢献とは

ともに考えよう地球の未来に向かって私たちにできる  
こと

### 【内容】

最初に、水を取りまく世界の現状（人間が使える水は地球上の水の0.1%と僅かであること 清潔な水が使えない人々、不衛生な水が原因で多くの人々が亡くなっている現状があること 水汲みのために学校へ通えない子ども達の存在等）を説明した。

次に、JAFSの理念（生きていて良かったと思える社会の創造を目指して）や支援が必要と考える時について、カンボジア等の海外事業や国内での活動事例を挙げつつ、水を中心に展開しているJAFSの活動について紹介した。

最後に、ストリートチルドレンの子どもと接した時に「地球の未来のために貢献したい」と考えていた事例を挙げ、人や環境を大切にすることの大事さを伝えるとともに、地球の未来に向かって自分達ができることを考え、行動に移してくださいと呼びかけた。



### 【講師プロフィール】

2004年(平成16年)JAFSへ入社。海外プロジェクト担当として、海外支援事業における調査・交渉、事業地における、ワークキャンプ・スタディツアー等のコーディネートを担当。

### 【所属組織の紹介】

生命にとって最も大切な水、飲料水の欠乏が深刻なアジアに井戸を送る運動として1979年に活動をスタートする。

現在では、アジアの人々との『理解と協力と連帯』を目指して、アジア18カ国46ヶ所に現地提携団体のネットワークを持ち、飲料水(井戸)供給のほか、植林、教育、生活向上等のさまざまな自立開発協力事業、各国ボランティア団体の育成、国際交流活動(ワークキャンプ等)の推進、国際理解教育、また地球の自然環境保全活動を主たる事業として行っている。  
(<http://www.jafs.or.jp/>)

### 【受講後の感想】

- ・ 地球には安全できれいな水も少なく世界には僕たちがふだん飲まないような水を遠くまで歩いて行って確保したりする現実を見て悲しくなった。
- ・ 世界では生きていく事もままならない人々もいること。
- ・ 私たちと年齢が変わらない子どもも世界にたくさんいて、毎日死ぬ気で生きていることが印象に残った。
- ・ 普段何気なく使っている水が、どれほど貴重なものかよく分かった気がする。だから、ムダに使わないように水を大切に使うこと。